

1学期の漢字

たしかめ 1

1	葉	もみじの葉っぱが紅葉する。
2	起	さあ起きろ。起床の時間だ。
3	速	速い速度で車が走る高速道路。
4	面	雨で地面が一面に水びたし。
5	向	この方向、進めば向こうの山に着く。

たしかめ 2

6	緑	新緑の緑の葉っぱ、きれいだな。
7	感	感想文、感じたことを書けばいい。
8	豆	お豆腐は、豆からできている。
9	物	外で大きな物音がした。
10	様	国により生活の様子は様々だ。

たしかめ 3

11	仕	その仕事、早く仕上げて帰ろうよ。
12	練	粉を練り、うどん作りの練習だ。
13	習	木曜日に習字を習っている。
14	州	本州と九州をつなぐ関門トンネル
15	央	町の中央に広場がある。

たしかめ 4

16	横	横断歩道の横で待つ。
17	倍	人間より何倍も力持ちの象。
18	館	本日は、図書館の休館日。
19	事	大事な事はよく考えて決めよう。
20	号	地図にはいろんな記号がある。

## たしかめ 1

1	もみじのはっぱが紅 <small>こう</small> ようする。
2	さあ おきろ。き床 <small>じしよ</small> のじかんだ。
3	はい そく度 <small>ど</small> で くるまが はしる こうそくどう路 <small>ろ</small> 。
4	あめで じめんが いちめん に みずびたし。
5	この ほうこう、進 <small>すす</small> めば むこうの やまに 着 <small>つ</small> く。

## たしかめ 2

6	しんりよくの みどりの はっぱ、きれいだな。
7	かん想 <small>そう</small> ぶん、かんじた ことを かけば いい。
8	おとう腐 <small>ふ</small> は、まめから できている。
9	そとで おおきな もの おとが した。
10	く に より せい かつの ようすは さまざまだ。

## たしかめ 3

11	その し事 <small>こと</small> 、はやく しあげて かえろうよ。
12	粉 <small>こな</small> を ねり、うどんづくりの れんしゅうだ。
13	もくようびに しゅうじを ならっている。
14	ほんしゅうと きゅうしゅうをつなぐ 関 <small>かん</small> もんトンネル。
15	まちの ちゅうおうに ひろばがある。

## たしかめ 4

16	おう断 <small>だん</small> ほどの よこで 待つ。
17	にんげんより なんばいも ちから持 <small>も</small> ちの 象 <small>ぞう</small> 。
18	ほんじつは、としよ かの きゅうかんび。
19	だいじな ことは よく かんがえて 決 <small>き</small> めよう。
20	ちずには いろんな きごうがある。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
表	漢	味	意	使
一年の気温の変化を表に表す。	漢という国の字だから漢字という。	味覚とは、舌で感じる味のこと。	手を挙げて、自分の意見を言う。	使用した紙を使ってリサイクル。

たしかめ 6

30	29	28	27	26
局	取	所	柱	調
薬局で薬を買う。	メモを取りながら取材する。	この住所は友達が住んでいる所だ。	円柱の形をしている電信柱。	調査して、調べたことを記録する。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
守	育	身	住	配
守備に付く、守りの要はキャッチャー。	体育は、体を育てる時間だ。	全身が筋肉痛で身動きできず。	この家に住んでいる住人。	新聞を配って回る新聞配達。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
題	問	持	動	決
作文に題名をつける。	難問だ。先生に問い、やっと分かった。	両方の手で荷物を持つ。	のっそりと動く動物、ナマケモノ。	多数決で決める。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
い ち ね ん の き 温 の 変 化 を ひ よ う に あ ら わ す。	か ん と い う く に の じ だ か ら か ん じ と い う。	み 覚 と は、 舌 で か ん じ る あ じ の こ と。	て を 挙 げ て、 じ ぶ ん の い け ん を い う。	し よ う し た か み を つ か つ て リ サ イ ク ル

たしかめ 6

30	29	28	27	26
薬 き よ く で 薬 を か う。	メ モ を と り な が ら し ゆ 材 す る。	こ の 住 し よ は と も 達 が 住 ん で い る と こ ろ だ。	え ん ち ゆ う の か た ち を し て い る で ん 信 ば し ら。	ち よ う 査 し て、 し ら べ た こ と を き 録 す る。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
し ゆ 備 に 付 く、 ま も り の 要 は キャ ッ チャ ー。	た い い く は、 か ら だ を そ だ て る じ か ん だ。	全 し ん が 筋 に く 痛 で み 動 き で き ず。	こ の い え に す ん で い る じ ゆ う に ん。	し ん ぶ ん を く ば つ て ま わ る し ん ぶ ん は い 達。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
さ く ぶ ん に だ い め い を つ け る。	難 も ん だ。 せ ん せ い に と い 、 や つ と わ か つ た。	両 ほ う の て で 荷 も つ を も つ。	の つ そ り と う ご く ど う ぶ つ、 ナ マ ケ モ ノ。	た す う け つ で き め る。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
泳	氷	都	筆	部
水泳で得意な泳ぎは平泳ぎ。	氷山は海に浮かんだ氷のかたまり。	昔は京都に都があった。	筆箱の鉛筆をけずって勉強する	左右二つの部分に分ける。

たしかめ 10

50	49	48	47	46
全	開	遊	返	有
全力を尽くしたが、全く歯が立たない。	開花とは、花のつぼみが開くこと。	昼休み、友達と遊具で遊んだ。	返金は、借りたお金を返すこと。	有料が無料になって有り難い。

たしかめ 11

55	54	53	52	51
苦	終	世	係	始
苦い薬を苦勞して飲む。ああ苦しい。	終了の笛が鳴ったよ、もう終わり。	世の中の事を知らない世間知らず。	その仕事、ぼくらの係も関係するね。	さあ開始。決勝戦の始まりだ。

たしかめ 12

60	59	58	57	56
品	板	曲	章	族
品質の良い品物が揃ったお店。	黒板は、昔は黒い板だった。	曲線は、曲がりくねった線のこと。	文章をよく読んで考えよう。	水族館でいろんな魚を見た。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
すいえいで得いな およぎは 平およぎ。	ひようざんは うみに 浮かんだ こおりの かたまり。	昔は きようとに みやこが あった。	ふで箱の 鉛びつを けずって 勉強しようする。	さゆう ふたつの ぶぶん に わける。

たしかめ 10

50	49	48	47	46
ぜんりよくを 尽くしたが、まったく 歯が たたない。	かいか とは、はなの つぼみが ひらく こと。	ひるやすみ、とも達と ゆう具で あそんだ。	へんきんは、借りた おかねを かえす こと。	ゆう料が 無料に なって あり難い。

たしかめ 11

55	54	53	52	51
にがい 薬を く勞して 飲む。ああ くるしい。	しゅう了の 笛が なったよ、もう おわり。	よのなかの ことを しらない せけん しらず。	その しごと、ぼくらの かかりも 関けいするね。	さあ かいし。けつ勝戦のはじまりだ。

たしかめ 12

60	59	58	57	56
ひん質の 良い しなものが 揃った おみせ。	こくばんは、昔は くらい いた だった。	きよくせんは、まがりくねった せん のこと。	ぶんしょうを よく よんで かんがえよう。	すいぞくかんで いろんな さかなを みた。

たしかめ

13

65	64	63	62	61
島	発	員	委	皿
島に住む人が一人もない無人島。	ピアノの発表会に出る。	入り口に係員が立っている。	図書委員の仕事は本の整理だ。	夕食の用意だ。お皿を並べてね。

たしかめ

14

70	69	68	67	66
安	君	死	相	寒
安らかな寝顔を見て安心する。	太郎君、君の好きな食べ物なあに？	必死でゴールを守った。	困ったな、相談できる相手がいない。	ああ寒い。強い寒波がやってきた。

たしかめ

15

75	74	73	72	71
申	血	登	橋	急
申し出ることを申告という。	転んで血管が切れ、足から血が出た。	八十歳でエベレストに登った登山家。	道路にかかる横断用の橋が歩道橋。	事故だ。急いで呼ぼう、救急車。

たしかめ

16

80	79	78	77	76
次	集	詩	想	由
次は何？それは次回のお楽しみ。	体育館に全校が集まり、音楽集会。	国語の時間に詩を書く。	読書感想文を書く。	何をしようと君の自由だ。

たしかめ

13

65	64	63	62	61
しまにすむひとがひとりもない無じんとう。	ピアノのはっぴようかいにでる。	いりぐちにかかりいんがたっている。	としよいいのしごとはほんの整りだ。	ゆうしよくのよういだ。おさらを並べてね。

たしかめ

14

70	69	68	67	66
やすらかな寝がおをみてあんしんする。	た郎くん、きみの好きなたべものなあに？	必しでゴールをまもった。	困ったな、そう談でできるあいてがない。	ああさむい。つよいかん波がやってきた。

たしかめ

15

75	74	73	72	71
もうしでることをしん告という。	転んでけつ管がきれ、あしからちがでた。	はちじつ歳でエベレストにのぼったとざんか。	どう路にかかるおう断ようのはしが ほどうきよう。	じ故だ。いそいで呼ぼう、救きゆうしゃ。

たしかめ

16

80	79	78	77	76
つぎはなに？それはじかいのおたのしみ。	たいいくかにぜんこうがあつまり、 おんがくしゅうかい。	こくごのじかにしをかく。	どくしよかんそうぶんをかく。	なにをしようときみのじゆうだ。



86	85	84	83	82	81
写	命	農	実	業	暑
スマホで写した花の写真。	命がけて使命を果たす。	米や野菜を作る仕事は農業だ。	柿の実を食べたのは、実は僕は	授業で漢字の意味を習う。	暑い日はプールで泳ぐと気持ちいい。

86	85	84	83	82	81
スマホでうつしたはなのしゃ真 <sup>しん</sup> 。	いのちがけでしめいを果た <sup>は</sup> す。	こめやや菜 <sup>さい</sup> をつくるしごとがのうぎようだ。	柿 <sup>かき</sup> のみをたべたのは、じつは僕 <sup>ぼく</sup> だ。	授 <sup>じゅ</sup> ぎようでかんじのいみをならう。	あついひはプールでおよぐときもちいい